

発言順位	8 番
------	-----

令和7年6月10日

三島市議会議員

1 番

秋山 恭亮

質問事項 1	三島駅南口周辺開発について
具体的内容	<p>令和6年に三島駅南口東街区の再開発事業が本格的に着工され、1年強が過ぎた。令和7年2月には基礎部分の地面が掘削され、威容を誇る三島の溶岩層が顔を出し、市民の皆様と見学したことは記憶に新しい。</p> <p>工事が順調に進捗すれば、令和10年2月頃に完成予定である。この再開発、「建物を建てておしまい」というような扱いにしてはならない。三島市の資産として、市民が胸を張れる街づくりの中心として、維持運営することこそが最重要だと考える。現在どのような状況なのか、今後どのような運用手法をとっていくのかを、市民の皆様にも現状と詳細を正しく理解していただくために、質問を行う。</p>
1	今年（令和7年）の4月・5月と例年に比べても三島市街地の湧水が少なかった。市民の皆様からも心配の声が上がったが、当局としてまちなかの湧水量についてどのような分析をしているかを伺う。
2	東街区の再開発とほぼ同時に南口広場の大改修も行われる。これはバスロータリーと一般車ロータリーを入れ替える大規模なものである。各々の議員が様々な要望を上げているところではあるが、特にトイレ、喫煙所、市民交流スペースなどの利便施設について伺う。
3	東街区再開発事業の現状について、また今後の進捗・方針について伺う。
4	東街区再開発では三島市はロータリー側の土地を保有し、期間を定め事業者の有償で貸す定期借地エリアとして運用することとなっている。この定期借地エリアの運用方法詳細について伺う。
5	竣工後の施設管理運用の実施者、運用責任の所在について伺う。
6	事業者は他市町でも同様のプロジェクトを実施している。その内容・現状について伺う。
7	竣工後の運用に関して、三島市が負うリスクについて伺う。
8	東街区の再開発エリアが完成すると、徒歩で動く人の流れが変わることが想定できる。三島駅北口への導線について伺う。
9	この再開発事業は三島市の街づくりの中心となり、三島駅の顔となるものだと理解している。三島市にまちなか賑わいづくり推進室も設置されたことから、今年度から、より具体的なまちづくりに踏み出すものだと考える。三島市のまちなかの街づくりビジョンと計画について伺う。